

第7波はそう遠くないかもしれない・・・

第5波の後と違って、第6波の後にはなかなか新規感染者数が減りきりません。2022年3月29日の大阪府での新規感染者数は4340人であり、これは第5波の最多人数である3001人を今も上回っていることになります。

第5波はピークを迎えた後に急激に感染者数が減少し、10月～12月は1日の新規感染者数が数十名というところまで減りました。しかし、残念ながら今回の第6波の後にはここまで減り切ることはないと考えられます。

その理由として、まずデルタ株とオミクロン株に対するワクチンの感染予防効果の違いが挙げられます。デルタ株に対しては2回接種を完了した人は感染するリスクを大きく減らすことができました。日本全体で8割の人が2回のワクチン接種を完了していたことから、感染者が出てそこから周りに感染の伝播が起こりにくい状況になっていました。しかし、オミクロン株に対してはワクチンの感染予防効果はかなり落ちており、ワクチン接種者も感染することがあります。したがって感染者から周りへの感染が起こりやすい状況が今も続いており、なかなか感染者は減りません。

さらに、第6波では子どもの感染者が多いという特徴がありました。子どもでの流行が続いていることから、家庭内感染のリスクがなかなか下がっていないということも減少スピードが遅い理由の一つになっています。

ここに来て、オミクロン株の下位系統BA.2が拡大してきています。これまでのオミクロン株は主にBA.1という種類のものでしたが、今日本国内でもより感染力の強いBA.2という種類が広がってきており、第7波への流行拡大に繋がることが懸念されています。

年度末から年度始めは送別会や歓迎会といったイベントが開催される時期になります。しかし、こうした大人数での会食はクラスターが発生するリスクになります。新型コロナの流行が続く、皆さんストレスも溜まっていると思いますが、どうか引き続きご協力のほどよろしくお願い致します。